

製品名: GSK3 β (リン酸化 Ser9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21562**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:46kD;Observed MW:46kD

抗原情報

遺伝子名	GSK3B
別名	GSK3B;Glycogen synthase kinase-3 beta;GSK-3 beta;Serine/threonine-protein kinase GSK3B
遺伝子 ID	2932.0
SwissProt ID	P49841
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

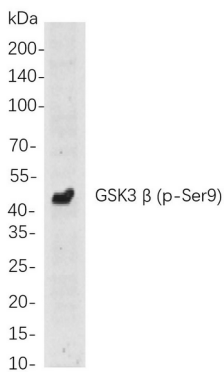
細胞局在: 細胞質、膜様。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、グリコーゲン合成酵素キナーゼサブファミリーに属するセリン-スレオニンキナーゼである。エネルギー代謝、神経細胞の発達、そして体型形成に関与する。この遺伝子の多型はパーキンソン

ン病のリスクを修飾する因子として示唆されており、マウスを用いた研究では、この遺伝子の過剰発現がアルツハイマー病の病因と関連している可能性が示唆されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2009年9月]

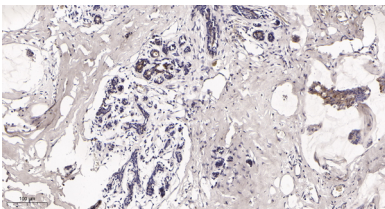
研究分野

-

画像データ



GSK3 β (p-Ser9) Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。1、GSK3 β (リン酸化 Ser9) ウサギモノクローナル抗体を 1: 200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を賦活 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1: 200 に希釈 (室温、30 分)。